

上下水道事業  
単年度実施計画（令和 7 年度版）

2025



令和 7 年 3 月策定  
堺市上下水道局



堺市上下水道局  
マスコットキャラクター  
すいちゃん



堺市上下水道局  
PRキャラクター  
マモルンダー

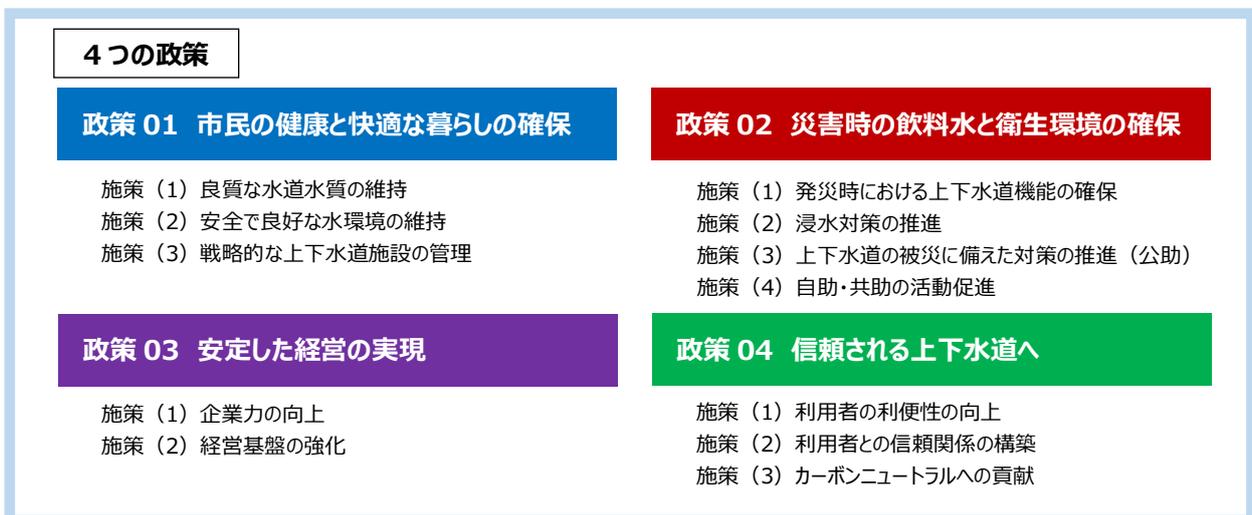
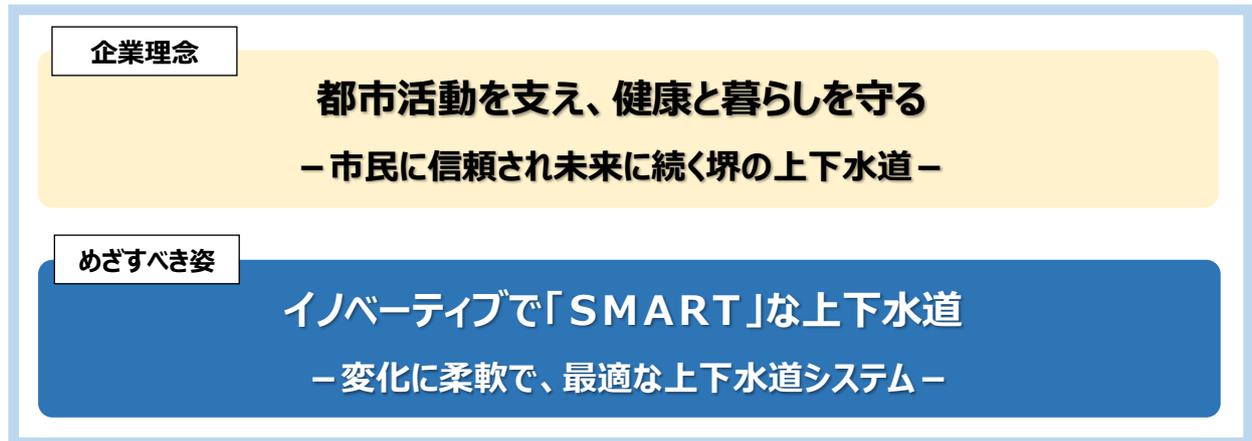
# 目次

I. 堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030 .....	1
II. 単年度実施計画 .....	2
III. KGI（重要目標達成指標）一覧 .....	2
IV. 施策体系・KPI（重要業績評価指標）一覧 .....	3
V. 当初予算の概要 .....	5
水道事業の当初予算 .....	5
下水道事業の当初予算 .....	6
VI. 単年度実施計画 .....	7
<b>政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保</b>	
施策（1） 良質な水道水質の維持 .....	7
事業 1-（1）-① 良質な水道水質の維持 .....	8
施策（2） 安全で良好な水環境の維持 .....	9
事業 1-（2）-① 汚水の適正処理の推進 .....	10
事業 1-（2）-② 公共用水域への汚水流出防止 .....	11
施策（3） 戦略的な上下水道施設の管理 .....	12
事業 1-（3）-① 水道施設の維持修繕・更新・最適化 .....	13
事業 1-（3）-② 下水道施設の維持・改築修繕・最適化 .....	14
<b>政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保</b>	
施策（1） 発災時における上下水道機能の確保 .....	15
事業 2-（1）-① 水道施設の耐震化・バックアップ .....	16
事業 2-（1）-② 下水道施設の耐震化 .....	17
施策（2） 浸水対策の推進 .....	18
事業 2-（2）-① 雨水整備の推進 .....	19
施策（3） 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助） .....	20
事業 2-（3）-① 災害対応力の強化 .....	21
事業 2-（3）-② 飲料水の確保 .....	22
施策（4） 自助・共助の活動促進 .....	23
事業 2-（4）-① 自助・共助の啓発（平時の情報発信） .....	24
事業 2-（4）-② 災害情報の発信（非常時の情報発信） .....	25
<b>政策 03 安定した経営の実現</b>	
施策（1） 企業力の向上 .....	26
事業 3-（1）-① 挑戦する人材の育成 .....	27
事業 3-（1）-② 魅力ある組織の構築 .....	28
事業 3-（1）-③ DX 推進 .....	29
施策（2） 経営基盤の強化 .....	31
事業 3-（2）-① 収支バランスの改善（水道事業） .....	32
事業 3-（2）-② 収支バランスの改善（下水道事業） .....	33
事業 3-（2）-③ 広域連携の推進 .....	34
事業 3-（2）-④ 公民連携の推進 .....	35
事業 3-（2）-⑤ 包括的民間委託のモニタリング及び効果検証 .....	36
<b>政策 04 信頼される上下水道へ</b>	
施策（1） 利用者の利便性の向上 .....	37
事業 4-（1）-① 来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進 .....	38
施策（2） 利用者との信頼関係の構築 .....	39
事業 4-（2）-① 利用者との相互理解 .....	40
施策（3） カーボンニュートラルへの貢献 .....	41
事業 4-（3）-① エネルギー使用量の削減 .....	42
事業 4-（3）-② 再生可能エネルギーの利用推進 .....	43

# I. 堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030

「堺市上下水道事業経営戦略 2023-2030」（以下、経営戦略）は、50年間の長期の方向性と達成目標を基に策定した8か年の基本計画であり、人口減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、上下水道事業を取り巻く厳しい経営環境の中でも持続的経営を実現するために、具体的な目標と取組を示したものです。

経営戦略のめざすべき姿を具体化した3つのゴールとその実現に向けて4つの政策を設定し政策を実現するための具体的方策として施策を紐づけています。



## II. 単年度実施計画

経営戦略の達成に向け、PDCA サイクルによるマネジメントを実施するために単年度実施計画を作成しています。

8年間の計画期間である経営戦略を基に、当該年度に実施する具体的な取組を記載し職員に周知の上で、局一丸となって業務を進めます。

ゴールはKGI（Key Goal Indicator：重要目標達成指標）、施策はKPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標）により管理します。

<p><b>KGI</b> 重要目標達成指標 Key Goal Indicator</p>	<p>● ● ●</p>	<p>達成すべき目標に対しその達成度合いを定量的に評価するための指標 <u>3つのゴールの達成度を測るために KGI を設定</u></p>
<p><b>KPI</b> 重要業績評価指標 Key Performance Indicator</p>	<p>● ● ●</p>	<p>達成すべき目標に対しどれだけの進捗がみられたかを中間的に評価するための定量的な指標 <u>各施策の進捗を評価するために KPI を設定</u></p>

## III. KGI（重要目標達成指標）一覧

### 安全・安心の戦略

#### ゴール 上下水道施設の適切な資産管理

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値（R5年度）
水道の老朽管	0%	0%維持	0%
下水道の劣化管	適切に措置されている	適切に措置されている	適切に措置されている

### 安定・持続の戦略

#### ゴール 持続可能な経営

KGI	計画策定時の値 <sup>※1</sup>	目標値	最新値 <sup>※2</sup>
累積利益（水道事業）	74億円	黒字の確保	12億円
累積資金（水道事業）	128億円	黒字の確保	81億円
累積利益（下水道事業）	3億円	黒字の確保	6億円
累積資金（下水道事業）	39億円	黒字の確保	55億円

※1 計画策定時の値は、経営戦略の収支見通し（当初計画）における令和5年度の値

※2 最新値は、令和5年度決算時点での収支見通しにおける令和12年度の値

### 信頼・サービスの戦略

#### ゴール 事業に対する理解度・利便性向上

KGI	計画策定時の値	目標値	最新値（R5年度）
コールセンターへの問合せ件数	102,977件	2割以上減少（R3年度比）	105,437件

## IV. 施策体系・KPI（重要業績評価指標）一覧

### 政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI				
		R7 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
(1) 良質な水道水質の維持	水質基準適合率	100%	100%	100%	①良質な水道水質の維持	水道
(2) 安全で良好な水環境の維持	放流水質基準達成率	100%	100%	100%	①汚水の適正処理の推進	下水道
	未水洗汚水量	4,667m <sup>3</sup>	4,509m <sup>3</sup>	3,929m <sup>3</sup>	②公共用水域への汚水流出防止	
(3) 戦略的な上下水道施設の管理	水道管路耐震化率	34.3%	35.2%	39.2%	①水道施設の維持修繕・更新・最適化	水道
	有効率	95.0%以上	95.0%以上	R5～8の実績を基に設定		
	下水道管まよの計画的調査率	28.5%	42.8%	100%		②下水道施設の維持・改築修繕・最適化

### 政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI				
		R7 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
(1) 発災時における上下水道機能の確保	上下水道管路の耐震性能確保済重要施設数	※1	※1	—	—	水道 下水道
	優先耐震化路線の耐震化率	100%	100% (R7)	100%	①水道施設の耐震化・バックアップ	水道
	配水池の耐震化率	58.2%	59.1%	71.0%		
	重要な管まよの耐震化率	97.3%	97.6%	98.7%	②下水道施設の耐震化	下水道
(2) 浸水対策の推進	重点地区の浸水対策実施率	30.8%	53.8%	69.2%	①雨水整備の推進	下水道
(3) 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）	上下水道機能の応急復旧の短縮	期間短縮をめざす ※国や府の指針： 水道 25 日、下水道 30 日			①災害対応力の強化	水道 下水道
					②飲料水の確保	水道
(4) 自助・共助の活動促進	災害に備えて家庭又は地域等で対策を講じている割合	75.0%	76.0%	80.0%	①自助・共助の啓発（平時の情報発信）	水道 下水道
					②災害情報の発信（非常時の情報発信）	

※1 堺市上下水道耐震化計画に基づき、R11 年度に 119/197 箇所を目標とします。

### 政策 03 安定した経営の実現

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI				
		R7 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
(1) 企業力の向上	研究発表等件数	45 件	60 件	120 件	①挑戦する人材の育成	水道 下水道
	時間外勤務総時間数の削減率 (R1 年度比)	△12.8%	△14.3%	△20.0%	②魅力ある組織の構築 ③DX 推進	
(2) 経営基盤の強化	純損益 (水道事業)	0 億円	各年度の 計画値を 上回る	各年度の 計画値を 上回る	①収支バランスの改善 (水道事業)	水道
	単年度資金収 (水道事業)	4 億円			②収支バランスの改善 (下水道事業)	下水道
	純損益 (下水道事業)	10 億円			③広域連携の推進	水道 下水道
	単年度資金収支 (下水道事業)	△6 億円			④公民連携の推進 ⑤包括的民間委託のモニタリング 及び効果検証	

### 政策 04 信頼される上下水道へ

施策					事業	分野
施策名	名称	KPI (重要業績評価指標)				
		R7 計画値	R8 目標値	R12 目標値		
(1) 利用者の利便性の向上	「すいりん」の登録率	20.0% <sup>※1</sup>	※2	※2	①来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進	水道 下水道
	来庁による給排水設備申請の減少率	△60%	△80% <sup>※3</sup> (△100%)	△100%		
	来庁による受付窓口利用者の減少率	△35%	△45%	△80%		
(2) 利用者との信頼関係の構築	情報の到達度 (項目「情報を見たことがある」の割合)	23% <sup>※4</sup> 以上	26% <sup>※4</sup> 以上	40% <sup>※4</sup> 以上	①利用者との相互理解	水道 下水道
(3) カーボンニュートラルへの貢献	温室効果ガス排出量の削減 (H25 年度比)	—	—	△50%	①エネルギー使用量の削減	水道 下水道
					②再生可能エネルギーの利用推進	

※1 実績の上振れによる計画値を見直し

※2 更なる普及拡大をめざして目標値を再設定します。

※3 目標値は年間総件数に対する値であり、R9.3 月末時点で△100%を目標としています。

※4 R5 年度まで市政モニターで「広報・広聴に満足していない」としていましたが、標本母数が少なかったことから、R7 年度以降は情報到達度として「上下水道局から発信する情報を見たことがある」の割合を評価する指標に見直します。

## V. 当初予算の概要

### 水道事業の当初予算

(単位：億円)

項目		R 6 年 度 【 参 考 】	R 7 年 度 予 算	前 年 度 比 (R7-R6)
収 益 的 収 支	水道料金	147	148	1
	その他収入	28	50	22
	収益的収入合計 (A)	175	198	23
	維持管理費	127	130	3
	(うち人件費)	14	14	0
	(うち受水費)	71	71	0
	資本費	49	50	1
	(うち支払利息)	6	6	0
	(うち減価償却費等)	43	44	1
	収益的支出合計 (B)	176	180	4
収益的収支差引 (C=A-B)	△1	18	19	
累積利益	32	58	26	
資 本 的 収 支	企業債	60	66	6
	その他収入	12	6	△6
	資本的収入合計 (D)	72	72	0
	建設改良費	91	98	7
	企業債償還金	16	16	0
	資本的支出合計 (E)	107	114	7
資本的収支差引 (F=D-E)	△35	△42	△7	
内部留保資金 (G)	38	43	5	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	2	18	16	
累積資金(引当金含む)	106	142	36	
企業債残高	517	573	56	

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※資本的収支差引の赤字は損益勘定留保資金(減価償却費等から長期前受金を差し引いたもの)や積立金(累積資金に含まれる)等で補填します。

### 建設改良費の内訳 主な事業の投資額 (R7年度)

対 策 名	老朽化対策	耐震化	その他
投資額(億円)	71	15	11

## 下水道事業の当初予算

(単位：億円)

項目		R 6 年 度 【 参 考 】	R 7 年 度 予 算	前 年 度 比 (R7-R6)
収 益 的 収 支	下水道使用料	154	153	△1
	その他収入	138	149	11
	収益的収入合計 (A)	292	302	10
	維持管理費	105	108	3
	(うち人件費)	19	19	0
	(うち維持管理費等)	86	89	3
	資本費	179	188	9
	(うち支払利息)	28	27	△1
	(うち減価償却費等)	151	161	10
	収益的支出合計 (B)	284	296	12
収益的収支差引 (C=A-B)	8	6	△2	
資 本 的 収 支	企業債	147	160	13
	その他収入	63	59	△4
	資本的収入合計 (D)	210	219	9
	建設改良費	159	168	9
	企業債償還金	172	165	△7
	資本的支出合計 (E)	331	333	2
資本的収支差引 (F=D-E)	△121	△113	8	
内部留保資金 (G)	103	111	8	
単年度資金収支 (H=C+F+G)	△10	1	11	
累積資金 (引当金含む)	27	64	37	
企業債残高	2263	2257	△6	

※うち一般会計繰入金

収益的収支 (収益的収支その他収入に含む)	76	81	5
資本的収支 (資本的収支その他収入に含む)	2	2	0

※各金額は税込額。

※各金額は単位未満を四捨五入し、端数調整は行っていません。

※資本的収支差引の赤字は損益勘定留保資金 (減価償却費等から長期前受金を差し引いたもの) や積立金 (累積資金に含まれる) 等で補填します。

### 建設改良費の内訳 主な事業の投資額 (R7 年度)

対 策 名	老朽化対策	耐震化	浸水対策	施設統廃合	その他
投資額 (億円)	79	37	15	15	22

## VI. 単年度実施計画

### 政策 01 市民の健康と快適な暮らしの確保

#### 施策（1） 良質な水道水質の維持

大阪広域水道企業団から受水した良質な水道水を適切に維持管理し、安全な水を供給します。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
		3.3 6.1

#### KPI（重要業績評価指標）

##### 水質基準適合率（%）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100
実 績	<b>100</b>	<b>100</b>				

**事業概要**

水質の検査や監視による水道水の安全性の確保に加え水安全計画に基づく配水管洗浄排水や鉛製給水管の取替等の取組により、大阪広域水道企業団から受水した水道水の水質を維持し水質基準を満たした安全な水道水を供給します。

**事業目標**

- ・適切な水質管理を継続し有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）を含む水質の検査や監視により水道水の安全性を確保します。また、令和8年4月より水質基準に追加される有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）に対応するため水質検査体制の整備を進めます。
- ・配水支管の更新時等に合わせて計画的に鉛製給水管の取替を実施します。

**取組**

取組名	水安全計画の運用・見直し
担当部署	水道事業調整課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水安全計画の妥当性と実効性の検証</li> <li>・検証内容を踏まえたマニュアル等の見直し</li> </ul>
取組名	水質の管理（検査・監視）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道 GLP システムに基づく水質検査等に関する品質管理業務の実施</li> <li>・有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）に対する水の安全性の確保のため、市内給水栓における実態調査の実施</li> <li>・有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）における水質検査体制を整備</li> </ul>
取組名	鉛製給水管の取替
担当部署	水道保全課、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単独取替（150 件）に加えて、配水支管の更新に合わせた効率的な取替の実施</li> <li>・補助金制度の PR（窓口での資料配布、新規指定工事事業者への周知）</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	88,541	0	0	0	88,541
債務負担行為	35,000（R7～8年度）				



## 施策（2）安全で良好な水環境の維持

水再生センターにおける汚水の適正処理の推進や公共用水域への汚水流出防止により、環境負荷を低減し安全で良好な水環境の維持を実現します。

SDGs : ゴール				SDGs : ターゲット	
				3.3	3.9
				6.2	6.3 6.6
				11.b	14.1

### KPI（重要業績評価指標）

#### 放流水質基準達成率（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	100	100	100	100	100	100
実 績	<b>100</b>	<b>100</b>				

#### 未水洗汚水量（千 m<sup>3</sup>）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	5,331	5,252	5,175	5,098	5,022	4,728
変更計画	—	—	—	4,667	4,509	3,929
実 績	<b>5,173</b>	<b>4,999</b>				

## 事業 1- (2) -① 汚水の適正処理の推進 [SDGsターゲット 3.3 3.9 6.2 6.3 6.6 11.b 14.1]

### 事業概要

水再生センターに流入する汚水を適正に処理し公共用水域の安全で良好な水環境を維持します。

### 事業目標

- ・より効率的な維持管理に努めた上で放流水の水質モニタリングを継続し汚水の適正処理を行います。
- ・水処理悪化の原因にもなる水再生センターへの悪水流入を未然に防止する取組を継続して実施することで、良好な水環境の維持に努めます。
- ・大阪府にて策定される「大阪湾流域別下水道整備総合計画」で定められる計画処理水質等を達成するために、堺市における今後 30 年間の下水道の方向性を示す「下水道全体計画」の策定を進めます。

### 取組

取組名	流域別下水道整備総合計画等の反映
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道全体計画の策定に向けて、上位方針で示された計画処理水質等を達成するために、目標年次（令和 30 年度）における下水量や水質の設定など管きょ計画や施設計画の見直しを検討</li> </ul>
取組名	水再生センターにおける放流水質の適正維持
担当部署	三宝水再生センター、下水道水質管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放流水質モニタリングの実施（三宝、石津、泉北水再生センター）</li> </ul>
取組名	事業場排水の監視
担当部署	下水道水質管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場等への適切な監視指導の実施（立入検査）</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	16,292	0	0	0	16,292
債務負担行為	50,000（R7～8年度）				



## 事業 1- (2) -② 公共用水域への汚水流出防止 [SDGsターゲット 3.3 3.9 6.2 6.3 6.6 14.1 14.5]

### 事業概要

日常生活や社会経済活動から発生する汚水が直接河川などに流出することを抑制し安全で良好な水環境を維持します。

### 事業目標

- ▶ 未普及地区における汚水整備（下水管布設工事の施工）や水洗化啓発の継続、雨天時浸入水の削減に向けた管内水位調査により、公共流域への汚水流出を抑制します。
- ▶ 雨天時放流水の水質モニタリングを実施します。

### 取組

取組名	未普及地区（里道・私道など）における汚水整備
担当部署	下水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 私道公共下水道布設制度による下水管布設工事の発注（0.3km）</li> </ul>
取組名	水洗化の促進
担当部署	給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 水洗化の啓発（未点検浄化槽に対する健康福祉局と連携した取組等）</li> <li>▶ 未水洗建物未水洗状態の長期化の防止（共用開始公告後 3 年を経過した建物）</li> <li>▶ 局職員による開栓時水洗化促進及び委託業者による開栓時無届接続確認</li> <li>▶ 水洗化促進にかかる取組の拡充に向けて、効果的な方法の検討</li> </ul>
取組名	合流改善の適正管理
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 雨天時放流水の水質モニタリングの実施（三宝処理区、石津処理区）</li> </ul>
取組名	雨天時浸入水の削減
担当部署	下水道管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 雨天時浸入水の原因把握と対策方法の検討（今池処理区、泉北処理区）</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	561,279	0	511,306	0	49,973
債務負担行為	1,308,000（R7～8年度）				



## 施策（3） 戦略的な上下水道施設の管理

市民の安全・安心を確保するため、老朽化による漏水や道路陥没等の被害を防止できるように施設の健全性を確保します。また、アセットマネジメント手法を活用し将来の改築更新需要を見据えた投資量の平準化を図ることに加え、将来の水需要の減少を踏まえた施設規模の見直しや適正配置を進めることでライフサイクルコストの低減を図り、安定的な上下水道サービスを提供します。

SDGs : ゴール			SDGs : ターゲット
 6 安全な水とトイレを世界中に	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 11 住み続けられるまちづくりを	6.1 6.2 9.1 11.b

### KPI（重要業績評価指標）

#### 水道管路の耐震化率<sup>※1</sup>（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	30.6	32.3	33.2	34.3	35.2	39.2
実績	<b>31.8</b>	<b>32.7</b>				

※1 更新対象となる年代に布設された水道管（非耐震管）は更新に合わせて耐震化するため、管路更新の進捗を示すKPIとしている（H17年度に耐震性のある水道管を全面採用）

#### 有効率（水道）（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	95以上	95以上	95以上	95以上	※3
実績	<b>95.6<sup>※2</sup></b>	<b>94.3</b> (94.7 <sup>※4</sup> )				

※2 H30～R3年度の平均値

※3 R9～12年度の目標はR5～R8年度の実績値を基に設定

※4 R5年度の年間日数は366日（閏年）に対し検針期間日数は364日であり、日数が2日少ないこと（料金水量が40万m<sup>3</sup>減少）を反映した有効率

#### 下水道管きよの計画的調査率（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	87.0	100 <sup>※5</sup>	14.2	28.5	42.8	100
実績	<b>90.6</b>	<b>100</b>				

※5 H25年度から実施してきた約740kmを対象とした管きよ調査はR5年度末で完了

R6年度からは、新たに対象管路（約763km）を設定し調査を開始（R6年度から0%スタート）

#### 【参考指標】

指標名	R4	R5
水道管路の経年化率 <sup>※6</sup>	20.7%	21.3%
下水道管きよの経年化率 <sup>※7</sup>	17.1%	20.4%

※6 法定耐用年数40年を超過する管路の割合

※7 標準耐用年数50年を超過する管きよの割合

事業概要

水道施設（水道管路、水管橋、弁栓類、水道設備、水質検査機器、配水池、建築物）の維持修繕（点検を含む）や更新を計画的に実施します。また、水道施設の統廃合やダウンサイジングによる施設規模の最適化を検討します。

事業目標

- ・水道管路（基幹管路、配水支管）及び水管橋の更新工事を施工します。
- ・業務の効率化を目的に、管路更新工事における多様な発注手法等を検討します。
- ・水道施設の維持修繕（点検を含む）を計画的に実施します。
- ・埼玉県における道路陥没事故を受け、引き続き計画的に水道管路の適切な維持管理・更新を進める事に加え、新たな技術を活用し漏水の早期発見や二次災害防止に取り組みます。

取組

取組名	水道管路の点検・維持修繕・更新
担当部署	水道建設課、水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道管路の更新工事                      基幹管路 [φ350mm 以上]（中区学園町ほか）8.2km 施工（うち 6.6km 施工完了）                      配水支管 [φ300mm 以下]（南区新檜尾台 4 丁ほか）22.0km 施工完了                      PCB 塗料を含有した水管橋の撤去・改修（2 橋）</li> <li>・衛星画像解析技術を活用した漏水調査範囲のスクリーニングの実施、漏水調査業務の発注</li> <li>・不明水対策の取組（漏水調査の検証など、要因分析を踏まえた対策の実施）</li> </ul>
取組名	水道設備の点検・維持修繕・更新（機械・電気）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・晴美台配水場直流電源装置更新工事の施工（R6-7）</li> <li>・東山制御所ほか直流電源更新工事の施工（R7-8）</li> <li>・維持管理計画に基づく設備全般の保守点検業務の実施や計画の見直し</li> </ul>
取組名	水道施設の点検・維持修繕（配水池・建築物）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設改修工事実施設計業務の実施（桃山台配水場ほか）</li> <li>・配水池の点検、清掃の実施</li> </ul>
取組名	水道施設の統廃合やダウンサイジングによる最適化
担当部署	水道事業調整課、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新太井分岐運用開始に向けた大阪広域水道企業団との協定締結（小平尾配水場、さつき野配水池の運用停止及び新太井分岐運用開始）</li> <li>・岩室配水場 No.1 配水池の管路化工事の施工（配水池の廃止）（R7-8）</li> </ul>

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	7,459,962	87,605	5,226,145	45,795	2,100,417
債務負担行為	5,641,500（R7～8 年度）				



## 事業 1- (3) -② 下水道施設の維持・改築修繕・最適化 [SDGsターゲット 6.2 9.1 11.b]

### 事業概要

下水道管きよ水再生センター・ポンプ場の維持、改築修繕により、健全性の確保とライフサイクルコストの低減を図り、安定的な下水道サービスの提供を実現します。また、50年先の未来を見据え、施設の統廃合やダウンサイジングによる施設規模の最適化を検討します。

### 事業目標

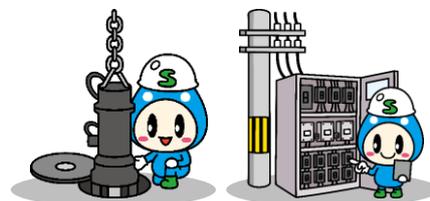
- ・老朽管きよの調査を継続し、調査の結果を踏まえ破損等により対策が必要となる「劣化管」は適切に措置します。
- ・マンホールポンプの改築工事及び下水処理場・ポンプ場設備の改築工事を実施します。
- ・下水道施設の最適化のため、陵西汚水移送線（三宝－古川間）の施工を実施します。
- ・埼玉県における道路陥没事故を受け、引き続き計画的に老朽管きよの調査や劣化管への対応を進める事に加え、国土交通省で検討が進められている新たな維持管理手法を視野に入れ、本市における手法の見直しを検討し事故防止に取り組めます。

### 取組

取組名	下水道管きよの維持・改築修繕
担当部署	下水道建設課、下水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽管調査 109km 実施</li> <li>・下水道管きよの改築工事（北区東浅香山町ほか）15km 発注</li> <li>・マンホールポンプ改築工事の発注（5 か所）</li> <li>・簡易 DB 方式によるマンホールポンプ改築工事の発注（8 か所）</li> <li>・これまでの調査結果に基づく改築事業量や事業内容の見直し</li> </ul>
取組名	水再生センター・ポンプ場の維持・改築修繕
担当部署	下水道施設課、三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンプ場沈砂池設備更新工事の施工（浜寺下水ポンプ場ほか）</li> <li>・下水道設備のアセットマネジメントシステムの維持管理情報の整理</li> </ul>
取組名	水再生センター・ポンプ場の最適化
担当部署	下水道施設課、下水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陵西汚水移送線（三宝－古川間）の施工（1.7km）</li> <li>・出島バイパス線関連工事の施工</li> <li>・石津出島移送線下水管布設工事の発注（2.2km）（R7-11）</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	9,864,703	2,908,200	6,158,258	0	798,245
債務負担行為	12,919,056（R7～11年度）				



## 政策 02 災害時の飲料水と衛生環境の確保

### 施策（1） 発災時における上下水道機能の確保

地震や風水害などの災害時に、上下水道施設の被害を最小限にとどめ給水機能と汚水処理機能を確保するため、上下水道施設の耐震化や電源の確保を上下一体で進めます。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
		6.1 6.2 11.b

#### KPI（重要業績評価指標）

##### 上下水道管路の耐震性能確保済重要施設数<sup>※1</sup>（箇所）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	—	73/197	※2	※2	—
実績	—	—				

※1 重要施設とは、堺市上下水道耐震化計画に基づく指定避難所や災害時医療協力病院等  
 ※2 堺市上下水道耐震化計画（R7～11）に基づき、R11年度に119/197箇所を目標とする

##### 優先耐震化路線の耐震化率（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	96.0	97.5	99.0	100 <sup>※3</sup>	—	—
変更計画	—	98.0	99.0	100 <sup>※4</sup>	—	—
実績	<b>97.4</b>	<b>98.2</b>				

※3 R7年度に目標達成予定  
 ※4 R4年度実績を踏まえ、早期に耐震化を達成するためR5年度より計画を前倒し

##### 配水池の耐震化率（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	77.4	77.4	84.4 <sup>※5</sup>	84.4	84.4	84.4
変更計画	—	53.8	54.6	58.2	59.1	71.0
実績	<b>77.4</b>	<b>53.8</b>				

※5 家原寺配水場配水池更新工事の工程変更により計画を見直し

##### 【参考】配水池の耐震化率（%）（耐震診断結果反映前）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
計画	—	—	78.5	83.1	84.4	84.4
実績	<b>77.4</b>	<b>77.4</b>				

##### 重要な管きよの耐震化率（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	97.8	96.4 <sup>※6</sup>	96.6	96.9	97.2	98.3
変更計画	—	—	97.2 <sup>※7</sup>	97.3	97.6	98.7
実績	<b>97.8</b>	<b>97.2</b>				

※6 R5年度から「重要な管きよ」の対象延長を約420kmから約550kmに拡大  
 ※7 工事の進捗を踏まえ、目標値を見直し

## 事業 2- (1) -① 水道施設の耐震化・バックアップ【SDGsターゲット 6.1 11.b】

### 事業概要

優先耐震化路線の構築により、地震が発生した際、特に水道水の供給が必要な重要給水施設（指定避難所や病院等）に至る給水ルートを確認します。また、配水池についても計画的に耐震化を進め、応急給水用水の貯留機能を確認します。また、給水区域間のバックアップ時に水圧が低下するおそれのある区域において、大阪広域水道企業団との緊急連絡管を整備することにより、バックアップ時の水圧を確認します。

### 事業目標

- ・上下水道耐震化計画に基づき、計画的に施設の耐震化を進めます。
- ・優先耐震化路線である水道管路（配水支管）の耐震化工事を実施します。（令和 7 年度全路線の耐震化が完了予定）
- ・家原寺配水場の配水池更新工事（R7 年度完成予定）及び耐震補強工事実施設計業務を実施します。
- ・大阪広域水道企業団と緊急連絡管を構築するための試掘工事発注と基本設計業務を踏まえたスケジュール検討を実施します。

### 取組

取組名	水道管路の耐震化（優先耐震化路線、更新に合わせた耐震化）
担当部署	水道建設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優先耐震化路線（東区西野ほか）0.5km 構築</li> </ul>
取組名	水道施設の耐震化（配水池）
担当部署	水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水池更新工事の施工（家原寺配水場）（R2-7）</li> <li>・耐震補強工事実施設計業務（陶器配水場ほか）の実施（R7-8）</li> </ul>
取組名	配水機能のバックアップの拡充
担当部署	水道建設課、水道事業調整課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急連絡管の整備に係る試掘工事の施工（陶器系給水区域）</li> <li>・緊急連絡管設置基本設計業務の成果を基にした施工スケジュールの検討（桃山台系給水区域）</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	1,545,000	0	1,339,455	0	205,545
債務負担行為	58,000（R7～8年度）				



## 事業 2- (1) -② 下水道施設の耐震化 [SDGsターゲット 6.2 11.b]

### 事業概要

緊急交通路に埋設された管きよや、指定避難所から水再生センターをつなぐ管きよ等の「重要な管きよ」及び水再生センター・ポンプ場の「重要な土木施設」の耐震化を実施します。これにより、被災時における下水の流下機能や水再生センター・ポンプ場の揚水機能、消毒機能等、必要最低限の機能を確保し、緊急交通路の道路陥没や街中への汚水流出の防止しトイレ機能を確保します。

### 事業目標

- ・上下水道耐震化計画に基づき、指定避難所から水再生センターをつなぐ「重要な管きよ」等の耐震化工事を行います。
- ・水再生センター・ポンプ場について、耐震化工事等を実施します。

### 取組

取組名	下水道管きよの耐震化
担当部署	下水道建設課、下水道保全課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管きよ耐震化工事（堺区錦綾町ほか）2.0kmの発注</li> <li>・マンホールポンプから自然流下への切り替え工事の発注（2か所）</li> <li>・耐震化に係る事業量の検討や事業内容を見直す委託業務の発注</li> </ul>
取組名	水再生センター・ポンプ場の耐震化
担当部署	下水道施設課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備更新工事に併せた耐震化工事の施工（三宝水再生センター高段ポンプ棟）</li> <li>・耐震診断業務の実施（泉北水再生センターほか）</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	3,686,836	837,700	2,804,136	0	45,000
債務負担行為	4,012,568（R7～8年度）				



## 施策（2） 浸水対策の推進

大雨による内水氾濫から市民の生命と財産を守るため、過去の実績や浸水シミュレーションから浸水危険解消重点地区を選定しハード対策とソフト対策の両面から浸水対策を推進します。また、気候変動の影響を考慮した計画の見直しを行います。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 11 住み続けられるまちづくりを	 13 気候変動に具体的な対策を	11.5 11.b 13.1

### KPI（重要業績評価指標）

#### 重点地区の浸水対策実施率（%）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	85.8	7.7	7.7	30.8	53.8	69.2
実 績	<b>85.8</b>	<b>7.7</b> (1/13 地区)				

※現在予定している事業を実施した場合の見通しであり、事業実施に向け検討や協議を続ける

なお、R4 年度は重点地区（24 地区）の対策実施率を示している

R5 年度より対策地区を見直し、新たな重点地区（13 地区）にて対策を開始する（R5 年度から 0%スタート）

## 事業 2- (2) -① 雨水整備の推進 [SDGsターゲット 11.5 11.b 13.1]

### 事業概要

局地的な大雨等に対し、浸水危険解消重点地区等へのハード対策や雨水流出抑制施設の設置促進等のソフト対策により、効率的かつ効果的な浸水対策を計画的に進め被害の最小化を図ります。浸水危険解消重点地区は、R5 年度から新たに 7 地区を選定し対策未完了である 6 地区と併せた 13 地区に対し対策を行います。

### 事業目標

- ・ 浸水危険解消重点地区の雨水整備（設計・施工）を計画的に進めます。
- ・ R4 年 9 月 2 日の大雨による被害地域に対しては、施設や地形、地勢等を考慮した対策を行います。
- ・ 雨水流出抑制施設設置について、関連部署と連携し条例化に向けた取組を開始します。
- ・ 気候変動の影響を考慮した計画の見直しを進めます。

### 取組

取組名	気候変動を考慮した計画の見直し
担当部署	事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の見直しに向けた関連部署との調整</li> <li>・ 堺市下水道全体計画の策定に合わせ、気候変動を踏まえた計画内容の反映</li> </ul>
取組名	浸水危険解消重点地区等の雨水整備
担当部署	下水道建設課、下水道施設課、事業マネジメント担当（下水）
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重点地区（13 地区）における取組 古川下水ポンプ場建設工事の施工（R6 年度末供用開始、R7 場内築造完了予定） 重点地区における管きょ布設工事（中区福田地区ほか）</li> <li>・ R4.9.2 局地的大雨による浸水被害に対する対応</li> </ul>
取組名	雨水流出抑制施設の設置
担当部署	下水道管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雨水流出抑制施設設置の課題整理</li> <li>・ 関係部署と連携し、施設管理者や開発事業者等に対する雨水流出抑制施設設置を促進</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	1,463,680	280,400	1,078,280	0	105,000
債務負担行為	2,025,000（R7～9 年度）				



### 施策（3） 上下水道の被災に備えた対策の推進（公助）

災害時の早期復旧や事故の未然防止に向け、訓練等を通して危機事象への対応力を向上させます。また、令和6年能登半島地震での教訓を踏まえ、上下水道一体によるBCPや体制の見直しを進め早期の応急復旧に貢献します。また、応急給水活動計画の実効性の確保や備蓄水の分散配置を進め災害時の飲料水を確保します。

SDGs : ゴール			SDGs : ターゲット		
 6 安全な水とトイレを世界中に	 11 住み続けられるまちづくりを	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	6.1	6.b	6.2
			11.5	11.b	
			17.17		

#### KPI（重要業績評価指標）

##### 上下水道機能の応急復旧の短縮

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画						
実績	期間短縮をめざす					

※応急復旧の目標値（水道25日、下水道30日）：国や府の指針に基づく目標

**事業概要**

局職員が業務継続計画（BCP）や各種マニュアル、過去の事故等の教訓を十分に把握し、災害発生時に自ら考え、迅速かつ確かな行動がとれるように、訓練や防災教育を実施します。

また、災害や事故発生時の初動や応急復旧期の体制の強化及び他の自治体（事業体）や民間企業からの受援体制の強化を目的に、包括的民間委託業者や協定締結事業者等と連携した訓練を重ねます。

**事業目標**

- ・「19 大都市水道局災害相互応援に関する覚書」に基づき、浜松市及び仙台市で実施される合同防災訓練等に参加します。また、災害協定締結業者など他団体との訓練を継続して実施します。
- ・能登半島地震の被害状況や教訓等を踏まえ、ハード整備だけでなくソフト面においても上下水道の一体的な復旧を図るため、業務継続計画（BCP）や各種マニュアルを見直し訓練等を通じて実効性を高めます。
- ・併せて、IoT 等の新技術の導入を積極的に検討することで応急復旧期間の短縮をめざします。

**取組**

<b>取組名</b>	訓練、防災教育による BCP 等の浸透と改善
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・能登半島地震の被害状況や教訓等を踏まえた業務継続計画（BCP）や各種マニュアルの見直し</li> <li>・危機管理研修の実施（局内外の研修、新規採用・転入者研修等）</li> <li>・各対策班における課題解決に向けた取組の実施</li> </ul>
<b>取組名</b>	上下水道施設・設備の応急復旧計画の実効性の確保
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道一体的な応急復旧に関する取組の推進</li> <li>・後方支援対策本部：他班と調整を行い、想定される応援内容を基に人員確保対策等の訓練を実施 災害協定に基づき、包括的民間委託業者の協力要員の確保や合同訓練を実施</li> <li>・水道対策本部：大規模地震を踏まえた訓練を実施し、マニュアル等の検証・改訂を実施</li> <li>・下水道管路対策本部：発災後の一次調査における調査頻度の見直し等の検討を実施</li> <li>・下水道施設対策本部：発災後の一次調査終了後の作業内容の見直し等を実施 各施設の被害想定を個別に設定し、対応内容の検討を実施</li> </ul>
<b>取組名</b>	災害対応に活用できる IoT 等の新技術の導入
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道一体での災害対応に有効な防災システムの在り方を検討</li> <li>・RAPIT：各対策本部との情報共有に関するマニュアルに基づく訓練の実施</li> <li>・後方支援対策本部：堺市上下水道局避難所設備等情報システムを用いた情報伝達訓練の実施、検証</li> <li>・水道対策本部：衛星画像解析技術を活用した漏水検知の導入 【取組名：水道管路の点検・維持修繕・更新（P13）参照】</li> <li>・下水道管路対策本部：新技術の事例等の調査、既導入システムの活用の検討</li> <li>・下水道施設対策本部：他自治体、他業種（インフラ関連）の先進事例調査、導入検討</li> </ul>
<b>取組名</b>	他団体との協定締結と訓練の実施
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19 大都市水道局覚書に基づく訓練の実施（浜松市及び仙台市で実施される合同防災訓練への参加）</li> <li>・日本水道協会関連（関西地方支部や大阪府支部等）の訓練への参加</li> <li>・下水道大都市ルールに基づく情報連絡訓練の実施</li> <li>・包括的民間委託業者や協定締結事業者等と連携した訓練の実施、災害協定締結事業者との訓練の実施</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	4,382	0	0	0	4,382
債務負担行為			0		

**事業概要**

病院や指定避難所への応急給水活動を迅速かつ的確に実施できるように、本市所有の給水タンク車や他の自治体（事業体）等からの受援を効率的・効果的に運用する訓練を実施し応急給水活動計画の実効性を高めます。また、指定避難所等に設置した災害時給水栓（すいちゃんのビックリじゃくち）及び簡易給水タンクによる応急給水活動が円滑に行えるように、防災関係機関や区役所、自主防災組織等との連携を強化します。

**事業目標**

- ・ 応急給水活動計画に基づく机上訓練や給水訓練を実施し非常時に備え、訓練後の検証を通じて応急給水活動計画をブラッシュアップさせます。
- ・ 校区自主防災訓練等に引き続き積極的に参加することで、避難所等での上下水道設備の認知度向上に努めます。
- ・ 指定避難所や区役所に備蓄している災害用備蓄水について、賞味期限を迎える数量と同数を新たに配備します。

**取組**

<b>取組名</b>	応急給水活動計画の実効性の確保
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、サービス管理部、水道部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急給水活動計画の見直し</li> <li>・ 応急給水訓練の実施（給水車の運転機会の確保、災害医療協力病院等との合同訓練の実施）</li> <li>・ 円滑な応急給水活動に向けた防災関係機関や区役所、自主防災組織等との連携強化（地域住民や堺市指定避難所等対応職員への上下水道設備の設置方法の周知など）</li> <li>・ 上下水道設備の設営動画の拡充（避難所の上下水道設備の設営方法等の動画コンテンツ充実）</li> </ul>
<b>取組名</b>	備蓄水の分散配置
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 備蓄水の分散配置（保存年限の異なる備蓄水の適切な分散配置）（指定避難所や各区役所の災害用備蓄倉庫、上下水道局の災害対策倉庫）</li> <li>・ 賞味期限が近い備蓄水を活用した啓発の実施</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	6,000	0	0	0	6,000
債務負担行為			0		



## 施策（４） 自助・共助の活動促進

市民が自身や家族、地域の力で災害から身を守り、避難生活において適切な行動が取れるように、非常時をはじめ平時から災害に関する情報を積極的に発信します。

SDGs : ゴール			SDGs : ターゲット		
 6 安全な水とトイレ を世界中に	 11 住み続けられる まちづくりを	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう	6.1	6.b	6.2
			11.5	11.b	
			17.17		

### KPI（重要業績評価指標）

災害に備えて家庭又は地域等で対策を講じている割合※（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	72.5	74.0	74.5	75.0	76.0	80.0
実 績	<b>78.7</b>	<b>77.7</b>				

※ 公募 500 名を対象とした市政モニターアンケート結果

**事業概要**

広報さかいや局ホームページ、SNS、防災マップ、動画コンテンツ（局 YouTube チャンネル）等の広報媒体をはじめ、イベント等を活用し、飲料水や携帯トイレの家庭内備蓄、内水ハザードマップの事前確認の重要性等を啓発し、市民の自助・共助への行動変容につなげます。

**事業目標**

- ・ 飲料水や携帯トイレの備蓄、リスクの事前把握等の重要性を戦略的に啓発しより実効性の高い自助・共助の促進を図ります。
- ・ 災害時に地域の力で指定避難所の簡易給水タンクや災害時給水栓、マンホールトイレを設置・運用ができるように、市危機管理室や区役所との連携のもと各設備の新設時の説明や校区防災訓練等の機会を通じて習得できるよう支援します。
- ・ 人命救助の要となる医療機関等において、施設や給排水設備の耐震・停電対策に取り組んでいただけるように啓発や技術的助言を行います。
- ・ 気候変動の影響により、施設能力を超過する大雨が発生した場合でも、これに備える事前防災の意識向上を図るため、想定最大規模降雨による内水ハザードマップを公表します。

**取組**

<b>取組名</b>	市民への啓発（家庭内における備蓄、リスクの把握等）
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災啓発活動の実施（イベント等での啓発、機会を捉えた情報発信等）</li> <li>・ 広報媒体を活用した情報発信の強化（広報さかい、局ホームページ、SNS、動画チャンネルなど）</li> <li>・ 市と包括連携協定を締結している事業者と連携した飲料水の備蓄や停電断水、水道管凍結等に関する周知・啓発の実施を検討</li> </ul>
<b>取組名</b>	校区防災訓練における上下水道設備の設営訓練
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校区防災訓練等への積極的な支援（簡易給水タンクや災害時給水栓、マンホールトイレの設営方法や設備の知識習得など）</li> <li>・ 上下水道設備の設営動画の拡充（避難所の上下水道設備の設営方法等の動画コンテンツ作成）</li> </ul>
<b>取組名</b>	医療機関等への啓発
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、サービス管理部、水道部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関への訪問、リスクコミュニケーションの実施（R7年度実施予定：急性期医療施設2か所、災害医療協力病院5か所）</li> </ul>
<b>取組名</b>	内水ハザードマップの更新
<b>担当部署</b>	事業マネジメント担当（下水）
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 想定最大規模の降雨を対象とした内水ハザードマップを公表</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	557	0	0	0	557
債務負担行為			0		

**事業概要**

市民が災害発生時に自身や家族の安全を守る行動が適切に取れるように、関係機関との連携のもと迅速かつ的確に必要な情報を発信します。

情報発信にあたっては、あらかじめ策定している計画やマニュアルの内容に沿って、迅速かつ的確に情報を収集し上下水道施設・設備等の被害状況や復旧目処、応急給水等の情報について局ホームページや SNS 等を活用して発信します。また、発信した情報が市民に届き行動変容につながるよう手法等を見直します。

**事業目標**

- ・ 広報さかいやイベント等の機会を活用し、局が非常時に情報発信を行う媒体（局ホームページや局 SNS、スマートフォンアプリ「すいりん」等）の PR を推進します。
- ・ 情報収集・発信に係る災害対応訓練や研修を継続的に実施することで、マニュアルの整理や充実化を図ります。
- ・ 局が発信する情報が市民に認知されている割合等を分析しエビデンスに基づく発信方法を検討します。

**取組**

<b>取組名</b>	災害情報の発信
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常時に情報発信を行う媒体（局ホームページや局 SNS（X（旧 Twitter）・LINE）、スマートフォンアプリ「すいりん」等）の啓発を実施</li> <li>・ 局広報媒体の運用マニュアルの確認及び災害時の情報発信に係る訓練、研修の実施</li> <li>・ 災害時のコールセンターへの問い合わせを減少させる取組を検討</li> </ul>

**予算額（千円）**

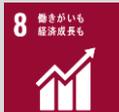
項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	39	0	0	0	39
債務負担行為			0		



## 政策 03 安定した経営の実現

### 施策（1） 企業力の向上

上下水道事業を支える職員の人材育成や技術力強化、職員が活躍できる環境整備を推進し、「職員力」「組織力」を強化することで企業力の向上を図ります。また DX を推進することで、より効果的な仕事の変革に取り組みます。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 5 ジェンダー平等を 実現しよう	 8 働きがいも 経済成長も	5.4 5.5 8.2 8.5

### KPI（重要業績評価指標）

#### 研究発表等件数（累積件数）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	15	30	45	60	120
実 績	<b>12</b>	<b>16</b>				

#### 時間外勤務総時間数の削減率<sup>※1</sup>（%）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	△10.0	△11.4	△12.8	△14.3	△20.0
実 績	△ <b>3.2</b>	<b>5.9</b> (△4.6 <sup>※2</sup> )				

※1 R1 年度を基準年度とした削減率

※2 被災地支援業務の発生以前（令和 5 年 4 月から 12 月まで）の実績

## 事業 3- (1) -① 挑戦する人材の育成 [SDGsターゲット 5.5 8.2 8.5]

### 事業概要

業務遂行に必要な基礎的能力を確実に習得することで、職員力の強化を図り自己成長や仕事の変革などに挑戦し続ける人材を育成します。

### 事業目標

- ・ 上下水道一体となって人材育成と技術継承の取組等を積極的に推進します。また、外部専門機関による技術及び知識の習得研修や OJT の充実等を実施することで基礎的能力の向上を図り、加えて自己成長やキャリア形成の支援を推進します。
- ・ 人事評価制度について、組織と個人の目標を連動させ職員の課題解決・業務改善能力の向上を図ります。

### 取組

取組名	基礎的能力の向上
担当部署	総務課、技術力強化担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種研修等の実施</li> <li>・ 技術分野における上下共通の人材育成・情報共有に係る取組の実施</li> </ul>
取組名	自らの学びを支援
担当部署	総務課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習支援ツールの提供及び活用促進</li> <li>・ 局内職員向けインターンの実施</li> <li>・ 所属長等によるキャリア形成に向けた支援</li> </ul>
取組名	課題解決・業務改善能力の向上
担当部署	総務課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人事評価における組織目標と個人目標の連動及び課題解決や業務改善に向けたチャレンジ項目の設定</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	11,872	0	0	0	11,872
債務負担行為			0		



事業概要

堺市職員ワーク・ライフ・バランス計画を踏まえ、「やりがいと成長を実感できる働き方」「パフォーマンスを最大限発揮できる組織」の実現に向けて、魅力ある組織の構築に取り組みます。

事業目標

- ・ ハラスメントを含む相談窓口の充実を図ることで、職員が安心して活躍できる環境整備を推進します。
- ・ 公正職務確保に向けて組織対応を徹底し、職員個人での不当要求等への対応を排除します。また、組織内の役割に基づいた対応が確実に実施できるよう公正職務の責任者や対応者に対するサポートを行います。
- ・ その他、仕事意欲の向上に係る取組を検討する等、多様な人材が活躍し達成感が得られる環境整備を推進し定着を図ります。

取組

取組名	生産性向上をめざす柔軟な働き方の実現
担当部署	総務課、広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別休暇等の各種福利厚生制度の周知</li> <li>・ ICT ツール活用事例紹介等の局内情報発信</li> </ul>
取組名	多様な人材が活躍し達成感が得られる環境整備
担当部署	総務課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性が活躍できる環境整備に係る取組の検討</li> <li>・ 仕事意欲の向上に係る取組の検討</li> </ul>
取組名	育児・介護・病気等と仕事の両立支援
担当部署	総務課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児休業取得率向上の取組の推進</li> <li>・ 職員相談窓口の充実</li> </ul>
取組名	公正職務の確保
担当部署	総務課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不当要求等への局内対応体制の強化（警察 OB 職員による不当要求への対応ノウハウ伝達のための内部研修の実施等）</li> </ul>

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	0	0	0	0	0
債務負担行為			0		



**事業概要**

少子化に伴う人口減少や生産年齢人口の減少等により、取り巻く社会環境が年々厳しくなる中、持続可能な上下水道事業運営を確保するためには、単なるデジタル技術の導入による効率化だけではなく業務プロセスの抜本的な変革により経営改革・構造改革に繋げる必要があります。

業務プロセスを適宜見直し、利用者サービス向上及び職員の業務効率化の両面において「いつでも、どこでも」をキーワードにアナログな仕事のデジタル化や業務プロセスのデジタル化を基礎とした DX を推進します。また、セキュリティ対策を適正に実施し情報セキュリティインシデントの発生を低減するよう取り組みます。

**事業目標**

- ・「上下水道局 DX 推進本部」を軸とした DX 推進及び ICT 活用に取り組みます。
- ・新技術の活用として、IoT 技術等を用いた管路や設備の維持管理業務の効率化に取り組みます。
- ・DX による新たな変革を行うことができる人材の育成に向け、各種の研修や事例発表会などを実施します。
- ・統合基盤やネットワークシステムなどの情報インフラを更新することで、業務システムの安定稼働及び機能の増強によるペーパーレスや DX 推進を後押しします。
- ・情報セキュリティ対策の強化においても、研修の実施などにより局内の情報セキュリティ意識を向上させます。

**取組**

取組名	DX 推進、ICT 利活用
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当、各課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX 推進を目的とした研究・研修などの実施</li> <li>・DX 推進本部会議による局内の横断連携、取組の進捗管理【DX・ICT 取組一覧（P30）参照】</li> </ul>
取組名	情報セキュリティ対策の実施
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ意識の向上を目的とした研修などの実施</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	655,309	0	0	0	655,309
債務負担行為			0		



## DX・ICT 取組一覧（R7 年度）

	取組名	取組概要	担当課
1	最適なコミュニケーション手法の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>局内のコミュニケーション手段の最適化による業務効率向上の検討</li> </ul>	技術力強化担当
2	事業・業務継続力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部署の DX 推進取組（効果向上が望める案件）の部署間の協議・調整等</li> </ul>	技術力強化担当
3	給排水設備工事管理システム DX	<ul style="list-style-type: none"> <li>給排水設備工事管理システムにおける検査・届出等の電子化により 3 レスを推進（R7 年度運用開始）</li> <li>指定給水装置工事業業者及び指定排水設備工事業業者に対する新システム利用の推進</li> <li>電子申請利用率は、新システム導入後 2 年で 100% を目標</li> </ul>	給排水設備課
4	予算決算事務の BPR	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6 年度に実施した予算決算事務 BPR の成果物の実装及び局内の他業務への展開</li> </ul>	経営企画室
5	ネットワークシステムの更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>冗長構成の拡大による業務影響リスクの低減</li> <li>監視通報機能導入による迅速な初動対応</li> </ul>	経営企画室
6	水道設備の資産管理システムの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>入札公告及び契約締結（令和 8 年 1 月予定）</li> <li>資産管理システムの設計及び開発、既存の設備台帳データの移行（システム引渡しは令和 11 年 3 月予定）</li> </ul>	水運用管理課
7	衛星画像解析技術を活用した漏水検知の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の入札及び契約</li> <li>近隣自治体との調整</li> <li>衛星画像解析結果から現地調査が必要な管路を抽出</li> </ul>	水道保全課
8	積算システムの更新に伴う業務 DX（下水道）	<ul style="list-style-type: none"> <li>R8 新システム稼働に向けた開発推進</li> </ul>	下水道事業調整課
9	施工承認の電子申請受付	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子申請の運用開始</li> <li>事業者への周知</li> </ul>	下水道管理課
10	情報整理手法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の対応状況などを即時入力できる地図アプリなどの活用検討及び試行</li> </ul>	下水道保全課
11	タブレットを活用した施設点検の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>R6 年度に行ったタブレットによる設備点検で抽出した課題の改善</li> <li>設備点検に係るペーパーレス推進</li> </ul>	三宝水再生センター
12	音監視技術を活用した設備の状態監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>重要設備の状態監視を音によって行うことで、故障未然検知を検討</li> <li>実証実験による検証</li> </ul>	三宝水再生センター

※ DX・ICT に係る取組のうち、導入及び導入に向けた実証実験やサウンディング等を実施するものを記載

## 施策（2） 経営基盤の強化

将来にわたり安定的に上下水道サービスを提供するため、収支バランスの改善や広域連携、公民連携により、経営基盤を強化します。

SDGs : ゴール	SDGs : ターゲット
 17 パートナシップで 目標を達成しよう	17.16 17.17

### KPI（重要業績評価指標）

#### 純損益（水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	40	0	0	△1	△8
実 績	<b>8</b>	<b>1</b>				

#### 単年度資金収支（水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	32	2	4	1	△9
実 績	<b>20</b>	<b>11</b>				

#### 純損益（下水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	3	12	10	8	11
実 績	<b>17</b>	<b>14</b>				

#### 単年度資金収支（下水道事業）（億円）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	△13	△3	△6	△6	△1
実 績	△9	△8				

事業概要

収支改善の取組を実行し経営戦略の計画期間内における累積損益を黒字化することで、収支ギャップを解消します。また、企業債借入水準を定め、新規発行額及び支払利息の増加を抑制し将来世代への料金負担の偏りを防ぎます。

事業目標

- ・コストの増加傾向に対して適切な対応がとれるよう、金利や物価の動向を注視します。
- ・収支改善の取組として、未利用資産の売却、貸付や債権の早期収納などによる収入の確保に取り組みます。
- ・事業実施にあたっては、工程管理の徹底による物価上昇の影響の抑制やより安価な工法・材料等を検討し建設改良費等の縮減に取り組みます。
- ・企業債借入について、経営戦略で定めた収支見通しどおり執行できるよう適切な管理を行います。併せて、借入手法を見直し利払いの削減を図ります。

取組

取組名	計画期間内の累積損益の黒字化（水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当ほか
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支改善の取組の実施</li> </ul>	
取組名	料金収入の確保（事業サービス課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未納債権の早期徴収の促進（滞納者における新規滞納の発生の抑制、給水停止解除の適正実施、法的措置の効果的な実施）</li> <li>・「すいりん」の登録率向上【取組名：「すいりん」の機能拡充（P38）参照】</li> </ul>	
取組名	未利用資産の利活用（理財・会計課、水運用管理課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浅香山浄水場跡地の売却に向けた取組</li> <li>・浅香山官舎用地の売却に向けた取組</li> <li>・広告媒体の活用や不用品の売却による収入確保</li> </ul>	
取組名	建設改良コストの縮減（水道建設課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配水支管更新材料変更による事業費の削減（配水用ポリエチレン管を約 17km で実施）</li> </ul>	
取組名	維持管理コストの縮減（水道事業調整課）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設最適化による施設における使用電力費削減の推進【取組名：水道施設の統廃合やダウンサイジングによる最適化（P13）参照】</li> </ul>	
取組名	企業債借入水準の適正化（水道事業）
担当部署	経営マネジメント担当
取組概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支見通しに基づき、計画的に企業債を発行</li> <li>・将来の支払い利息を軽減するため、R6 年度に決定した起債の借入手法を基に起債の借入を実施</li> </ul>	

予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	325,470	0	0	0	325,470
債務負担行為			0		

**事業 3- (2) -② 収支バランスの改善（下水道事業）** [SDGsターゲット 17.16 17.17]

**事業概要**

企業債制度の活用や地方公営企業法に基づく長期の借入により資金収支の黒字を維持します。また、長期的な純損益と資金収支の黒字を確保することができる企業債の借入水準を設定します。

**事業目標**

- ・コストの増加傾向に対して適切な対応がとれるよう金利や物価の動向を注視します。
- ・収支改善の取組として、未利用資産の貸付や債権の早期収納などによる収入の確保、水再生センターにおける運転管理の工夫による維持管理コストの縮減などに取り組みます。
- ・事業実施にあたっては、工程管理の徹底による物価上昇の影響の抑制やより安価な工法・材料等を検討し建設改良費等の縮減に取り組みます。
- ・企業債の借入について、経営戦略で定めた収支見通しどおり執行できるよう適切な管理を行います。併せて、借入手法を見直し利払いの削減を図ります。
- ・制度が見直しされる資本費平準化債の更なる活用を検討します。

**取組**

<b>取組名</b>	企業債制度等の更なる活用（下水道事業） 企業債借入水準の適正化（下水道事業）
<b>担当部署</b>	経営マネジメント担当
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支見通しに基づき、計画的に企業債を発行</li> <li>・将来の支払い利息を軽減するため、R6 年度に決定した起債の借入手法を基に起債の借入を実施</li> <li>・資本費平準化債及び一般会計からの長期借入を活用し資金繰りを改善</li> </ul>
<b>取組名</b>	経費回収率の適正化（下水道事業）
<b>担当部署</b>	経営マネジメント担当ほか
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収支改善の取組の実施</li> </ul>
<b>取組名</b>	使用料収入の確保（事業サービス課）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未納債権の早期徴収の促進（滞納者における新規滞納の発生の抑制、給水停止解除の適正実施、高額滞納者の滞納処分の実施）</li> <li>・「すいりん」の登録率向上【取組名：「すいりん」の機能拡充（P38）参照】</li> </ul>
<b>取組名</b>	未利用資産の利活用（理財・会計課、下水道施設課）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泉北水再生センター内の未利用地の貸付</li> <li>・広告媒体の活用や不用品の売却による収入確保</li> </ul>
<b>取組名</b>	建設改良コストの縮減（下水道建設課、下水道保全課、下水道施設課）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改築・耐震化工事における発注規模拡大による経費縮減</li> <li>・マンホールポンプ設備工事における概算数量設計の試行を引き続き実施</li> </ul>
<b>取組名</b>	維持管理コストの縮減（三宝水再生センター）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転管理の工夫による動力費の削減【取組名：環境負荷の少ない事業運営（省エネ運転など）（P42）参照】</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	5,338	0	0	0	5,338
債務負担行為			0		

**事業 3- (2) -③ 広域連携の推進** [SDGsターゲット 17.16 17.17]

**事業概要**

大阪府や他の水道事業者と連携し将来の府域一水道に向けた取組を推進します。また、他の事業者との共同化等の連携事業に取り組みます。

**事業目標**

- ▶ 大阪府水道基盤強化計画に基づく取組の推進及び他の事業者との業務の共同化等の検討に取り組みます。
- ▶ 大阪広域水道企業団の構成団体として、企業団の円滑な運営に寄与します。

**取組**

<b>取組名</b>	大阪府や他の事業者と連携した将来の府域一水道に向けた取組の推進
<b>担当部署</b>	広域・公民連携・DX 推進担当
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大阪府が設置する「府域一水道に向けた水道のあり方協議会」での将来の府域一水道に向けた取組の推進</li> <li>▶ 大阪府水道基盤強化計画に基づく取組の推進として、大阪府を中心とした WG で業務の共同化を検討</li> </ul>
<b>取組名</b>	他の事業者との連携事業（業務の標準化、システムの共同化等）の検討
<b>担当部署</b>	広域・公民連携・DX 推進担当
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 大阪府水道基盤強化計画に基づく、事務の共同化やシステム・仕様の統一化等の検討</li> <li>▶ 人工衛星の画像解析技術を活用した漏水調査業務について府内7市で共同実施</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	0	0	0	0	0
債務負担行為			0		

**事業 3- (2) -④ 公民連携の推進** [SDGsターゲット 17.16 17.17]

**事業概要**

既存の公民連携にとられることなく本市が引き続き担うべき業務と民間事業者等に委ねるべき業務の役割分担の最適化を図ります。

**事業目標**

- ・ 公民連携手法を用いた水運用管理システムの更新やウォーターPPP 導入検討を進めます。
- ・ 局ホームページに開設している公民連携プラットフォームや水道 ICT 情報連絡会等を通じて、幅広いジャンルの提案や情報の収集、実証実験やフィールド提供の実施など、民間ノウハウの活用や新技術の導入に向けて調査及び研究を進めます。

**取組**

<b>取組名</b>	配水池等の運転管理及び維持管理体制の再構築
<b>担当部署</b>	水運用管理課
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水運用管理システム更新事業の入札公告の実施</li> <li>・ 落札者決定および客観的評価の結果、審査講評の公表</li> <li>・ 事業者との契約締結</li> </ul>
<b>取組名</b>	民間ノウハウの調査及び研究
<b>担当部署</b>	広域・公民連携・DX 推進担当
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民連携プラットフォームや水道 ICT 情報連絡会における情報収集</li> <li>・ 業界紙・新聞等を起点とした他都市の先進事例、民間ノウハウの情報収集</li> </ul>
<b>取組名</b>	ウォーターPPP 導入検討
<b>担当部署</b>	下水道事業調整課、下水道保全課、下水道施設課、三宝水再生センター、経営企画室
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和 8 年度に行う入札公告に向けた準備</li> <li>・ 国等における説明会や他都市調査における情報収集</li> </ul>

**予算額 (千円)**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	35,919	0	0	0	35,919
債務負担行為	11,294,000 (R7~24 年度)				

**事業概要**

包括的民間委託の適正なモニタリングを実施し透明性及び客観性を確保するためにモニタリング結果を公表します。また、更新時期を見据えた継続的な効果検証により事業環境に応じた最適な公と民の役割分担の検討を進めます。

**事業目標**

- ・ 局の 3 つの包括的民間委託（水道メーター検針・料金収納等業務、下水道管路施設維持管理等業務、水再生センター施設維持管理業務）において、適正なモニタリングとモニタリング結果の公表を継続して行い契約更新時期を見据えた効果検証を継続的に実施します。
- ・ 技術力及びノウハウの確実な継承を目的とした人材育成を実施します。

**取組**

取組名	水道メーター検針・料金収納等業務
取組名	下水道管路施設維持管理等業務
取組名	水再生センター施設維持管理業務
担当部署	経営企画室、事業サービス課、下水道保全課、三宝水再生センター
<b>取組概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 適正なモニタリングの実施</li> <li>・ モニタリング結果の公表</li> <li>・ 職員のモニタリング力の向上</li> <li>・ 技術継承に向けた仕組みの構築</li> <li>・ 更新時期を見据えた効果検証</li> <li>・ 次期契約に向けた委託内容の検討（水道メーター検針・料金収納等業務）</li> </ul>	

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	2,739,195	0	418,501	0	2,320,694
債務負担行為	0				



## 政策 04 信頼される上下水道へ

### 施策（1） 利用者の利便性の向上

技術の進展や利用者のニーズを踏まえつつ、上下水道局における各種手続きを簡素化し利用者の利便性やサービスの向上を推進します。

SDGs : ゴール	SDGs : ターゲット
	9.1

#### KPI（重要業績評価指標）

##### 「すいりん」の登録率（%）

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	12.0	13.0	14.0	15.0	16.0	20.0
変更計画	—	—	—	20.0 <sup>※1</sup>	※2	※2
実績	<b>12.1</b>	<b>15.0</b>				

※1 実績の上振れによる計画値の見直し

※2 更なる普及拡大をめざして目標値を再設定

##### 来庁による給排水設備の申請及び受付窓口の利用者数の減少率（%）

###### 来庁による給排水設備の申請<sup>※3</sup>

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	0	0	0	△60	△80 <sup>※4</sup> (△100)	△100
実績	<b>0</b>	<b>0</b>				

※3 給水装置工事申込・排水設備計画確認申請

※4 目標値は年間総件数に対する値であり、R9.3月末時点で△100%を目標とする

###### 受付窓口の利用者数

年度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	△5	△15	△25	△35	△45	△80
実績	<b>△38.2</b>	<b>△38.4</b>				

## 事業 4- (1) -① 来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスの推進 [SDGsターゲット 9.1]

### 事業概要

めまぐるしく変化する社会情勢に対応するため、急速に進化する ICT 等の新技術や利用者のニーズを的確に捉え DX を推進します。また、3レス（来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレス）を実現するデジタル窓口を構築することで更なる利用者の利便性やサービスの向上につなげます。

### 事業目標

- ・スマートフォンアプリ「すいりん」の登録者数向上のため、ニーズに対応した機能拡充などに取り組み更なる登録率の向上を図ります。
- ・給排水設備工事管理システム（R7 年度運用開始）による電子化をはじめ、行政手続きのオンライン化を推進し来庁レス・キャッシュレス・ペーパーレスに取り組みます。

### 取組

取組名	「すいりん」の機能拡充
担当部署	事業サービス課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性向上や業務効率化に資する機能拡充の検討</li> <li>・登録者拡充のための広報活動を実施</li> </ul>
取組名	行政手続きのオンライン化
担当部署	広域・公民連携・DX 推進担当、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政手続きのオンライン化を推進（R7 年度に 3 件のオンライン化を予定）</li> <li>・給排水設備工事管理システムにおける検査・届出等の電子化により 3 レスを推進</li> <li>・指定給水装置工事事業者及び指定排水設備工事事業者に対する新システム利用の推進</li> </ul>
取組名	スマートメーターの導入に向けた検証
担当部署	事業サービス課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートメーターの事例調査</li> <li>・包括的民間委託業者と連携した実証実験の実施</li> <li>・New-Smart での事例を踏まえ、本市の実情にあった手法を検討</li> </ul>
取組名	手数料決済のキャッシュレス化
担当部署	事業サービス課、給排水設備課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給排水設備の申請等に係る手数料のキャッシュレス決済の利用率向上を促進</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	71,437	0	0	0	71,437
債務負担行為			0		



## 施策（２） 利用者との信頼関係の構築

利用者に上下水道事業に対する理解を深めていただき信頼関係を構築するため、最適な媒体を活用した情報発信を積極的に図り利用者の声をサービスの向上や業務改善につなげます。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナーシップで目標を達成しよう	16.6 16.7 17.17

### KPI（重要業績評価指標）

情報の到達度（項目「情報を見たことがある」の割合）※1（％）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満	5.0 未満
変更計画	—	—	—	23%以上※2	26%以上	40%以上
実 績	<b>8.4</b>	<b>3.6</b>				

※1 公募 500 人を対象とした市政モニターアンケート結果

※2 R5 年度まで市政モニターで「広報・広聴に満足していない」としていましたが、標本母数が少なかったことから、R7 年度以降は情報到達度として「上下水道局から発信する情報を見たことがある」の割合を評価する指標に見直します。

**事業概要**

市民の皆さまに、水の安全性や経営状況等の知らせるべき情報を適切に発信し、公営企業としての説明責任を果たします。

また、市民の皆様の声を積極的に収集し事業運営に反映させることで、市民の関心が高い情報発信や利用者サービスの向上、業務改善につなげ、上下水道事業の透明性と信頼性を高めます。

**事業目標**

- ・市民の関心が高く局として重点を置いて伝えるべき情報など、テーマや施策事業の内容、ターゲットに応じ最適な広報媒体を活用し、戦略的に情報発信を実施します。
- ・出前教室や上下水道まなび隊、区民まつりなど、ターゲットや目的を踏まえた、市民の行動変容に繋がる広報を展開します。
- ・市政モニターアンケートや WEB アンケート等から市民の多様な声を分析し経営改善に反映することに加え、市民満足度や認知度が低いものは局ホームページや X 等での情報発信を強化します。

**取組**

<b>取組名</b>	各種媒体による効率的かつ効果的な情報発信
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市政モニターや WEB アンケート等を活用した市民の関心の高い情報の把握</li> <li>・市民へ訴求する広報として、上下水道局情報誌による広報を発行回数年 2 回に強化し内容を充実化</li> <li>・局 SNS や「すいりん」の機能を活用した即時かつ効果的な情報発信</li> <li>・局ホームページでの掲載内容の更なる充実</li> </ul>
<b>取組名</b>	ターゲットに応じたメッセージ性の高い広報の実施
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上下水道事業への理解を深めてもらう機会の創出（アンケート結果の反映、学習用動画の活用）</li> <li>・ターゲットや手法、時期、費用対効果等を踏まえたイベントの実施（上下水道まなび隊の開催等）</li> <li>・大規模な施設整備や浸水対策事業等の目的や効果を情報発信</li> </ul>
<b>取組名</b>	利用者の声をサービスの向上や業務改善に反映
<b>担当部署</b>	危機管理・広報広聴担当、各部
<b>取組概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営戦略の中間見直しに向け、局情報誌を活用した WEB アンケートの設問項目の妥当性評価等の分析、X 分析、利用者の声も含め、多角的に整理</li> <li>・利用者の声を経営改善に反映し、問合せの多い内容は局 HP に公開</li> </ul>

**予算額（千円）**

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	10,486	0	0	0	10,486
債務負担行為			0		



## 施策（3） カーボンニュートラルへの貢献

省エネ・創エネを進め温室効果ガスの排出量を削減します。

SDGs : ゴール		SDGs : ターゲット
 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	 13 気候変動に 具体的な対策を	7.2 7.3 13.1

### KPI（重要業績評価指標）

#### 温室効果ガス排出量の削減率（%）

年 度	R4	R5	R6	R7	R8	R12
当初計画	—	R12年度の目標達成をめざす				△50 <sup>※1</sup>
実 績	△40.3	△32.6				

※1 H25年度を基準年度とした削減率

## 事業 4- (3) -① エネルギー使用量の削減 [SDGsターゲット 7.2 7.3 13.1]

### 事業概要

施設の改築更新に併せた省エネ設備の導入や LED 照明設備への切替えを進めます。また、各水再生センターにおいては、消費エネルギーを考慮した汚水の適正処理により温室効果ガスの排出量を削減します。

### 事業目標

- ・ 風量の制御性に優れた送風機の改築更新工事や照明設備の更新工事（LED 化）を実施します。
- ・ 水再生センターでは、省エネルギー・低コスト運転を継続することに加え、効率的な運転管理に向けた改善策を検討し温室効果ガスの排出量を削減します。

### 取組

取組名	省エネ設備の計画的な更新（省エネ機器）
担当部署	下水道施設課、水運用管理課、技術力強化担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明器具の更新 （晴美台配水場ほか 5 か所の水道施設、三宝水再生センター総合管理棟、局本庁舎）</li> </ul>
取組名	環境負荷の少ない事業運営（省エネ運転など）
担当部署	三宝水再生センター
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三宝水再生センターにおける取組 水質とエネルギーの最適化（電力、薬品使用量の削減）</li> <li>・ 石津、泉北水再生センターにおける取組 包括民間委託における省エネルギー運転の推進</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	1,040,167	25,000	0	25,000	990,167
債務負担行為	100,000（R7～8年度）				

## 事業 4- (3) -② 再生可能エネルギーの利用推進 [SDGsターゲット 7.2 7.3 13.1]

### 事業概要

既存施設を有効活用した再生可能エネルギーの創出に取り組みます。また、再生可能エネルギー100%電力への切替など、費用対効果を見据えながら再生可能エネルギーの利用を推進します。

### 事業目標

- ・ 既存施設を有効活用した再生可能エネルギー創出事業の導入に向けた取組を行います。

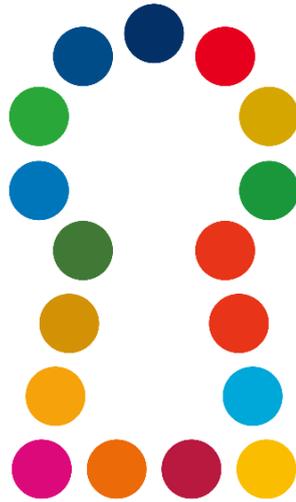
### 取組

取組名	太陽光・小水力発電の導入検討
担当部署	事業マネジメント担当、下水道施設課、三宝水再生センター、水運用管理課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クリーンセンター東工場の発電設備（廃棄物発電）を活用したカーボンフリー電力の導入</li> </ul>
取組名	下水道資源・エネルギーの利用
担当部署	下水道施設課、下水道事業調整課
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生水の水質基準の確認、内川への影響の確認</li> <li>・ 再生水利用者等と情報・意見交換を実施</li> </ul>
取組名	再生可能エネルギー100%電力への切替
担当部署	経営マネジメント担当
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生可能エネルギー100%電力の調達方法に係る調査を実施</li> </ul>

### 予算額（千円）

項目	総事業費	国費・交付金	起債額	工事負担金	一般財源等
現年度	0	0	0	0	0
債務負担行為			0		





# SDGs未来都市・堺

Sustainable Development Goals Future City, SAKAI CITY

上下水道事業 単年度実施計画（令和7年度版）

令和7年 3月 発行

堺市 上下水道局 経営企画室

〒591-8505

堺市北区百舌鳥梅北町1丁39番地2

T E L : 072-250-9227

F A X : 072-250-6600

H P : <http://water.city.sakai.lg.jp/>

